



◇編集・発行／無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会（準） ◇頒価 200 円 ◇毎月 1 回 第 1 月曜日発行 ◇会費 年間 3000 円
◇連絡先 星野さんをとり戻そう！全国再審連絡会議／大坂正明さん救援会 ◇口座振替 00110-5-155521（星野）00140-7-635858（大坂）
〒105-0004 東京都港区新橋 2-8-16 石田ビル 4 階 ◇TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226 ◇Email : hoshinoosaka@gmail.ne.jp



星野・大坂の闘いが歴史的結合 大坂さん絶対奪還へ

5月30日、弁護士会館講堂ク
レオで開催された「星野国賠に
勝利したぞ！大坂控訴審に勝
利するぞ！5・30総決起集会」
に180人が結集し、星野・大
坂救援会の統一で大坂正明さん
絶対奪還へ向かう闘いの方針が
確認されました。（写真上）

「星野国賠勝利を切り開いた
私たちの力を、大坂さん奪還へ
注ぎ込もう。11・14弾圧との闘
いの勝利は安保・沖縄闘争の爆
発の中にある。救援会を統一し、
戦時弾圧に勝利する新しい闘い
に踏み出そう」という狩野満男
星野全国再審連絡会議共同代表
の鮮明な基調報告に、参加者は
真剣に聞き入り、この決意にこ
たえる熱い発言が続きました。
（2～5ページに報告記事）

お知らせ

星野救援会と大坂救援会は統一
し、新たな闘いに踏み出します。
今月より新しい救援ニュースを
発刊します。

今月の紙面

- 5・30集会 基調報告
- 5・30集会 弁護団報告
- 5・30集会 闘う決意
- 5・8東京高裁申し入れ行動
- 5・15沖縄現地闘争報告
- 各地の星野絵画展 土浦／広島／高松

… 7 6 6 4 3 2

中谷防衛相は朝鮮半島から東、南中国海を「戦域」とする「ワンシアター構想」を米軍に提案した。戦争を仕掛ける側の軍事用語で公然と宣言されている。すでに自衛隊独自の対中国侵略戦争は始まっていると言わねばならない▼私たちの5・15沖縄闘争はこの情勢のもとで独自の県庁前街宣を闘った。新たな星野・大坂闘争が沖縄の地で号砲をあげたのだ。沖縄での全国から40名を超える大坂奪還の闘いは星野闘争の歴史の中では初めてではないか。皆の思いはひとつに重なる▼星野・大坂闘争が統一され、いよいよ新たな闘い、運動が始まる。それは今日の戦時下にあって激しい反戦政治闘争への弾圧を打ち破り、不屈の意思を貫く大坂さん奪還の闘いとして始まる。私たちの星野・大坂闘争は沖縄を戦場にさせない闘い全体の核となり最前線にある▼統一事務局渾身の第一号である星野・大坂ニュースの発刊を喜びたい。昨年の星野総会での方針から大坂救援会との綿密な議論、準備を経て5・30全国集会で闘いの方向性は示された。大坂絶対奪還の控訴審、星野国賠控訴審を渋谷暴動闘争の継承、発展として、私たち自身の絶対反戦Ⅱ沖縄闘争として闘いぬきたい。



星野・大坂全国救援会
共同代表 狩野満男

5・30 総決起集会報告

救援会の統一で大坂奪還へ
安保・沖縄闘争の爆発で
11・14弾圧に勝ち抜こう



基調報告

狩野満男

本集会の最大の柱は、大坂正明さんの解放・奪還を何としても勝ち取ろうということです。

大坂さんの解放・奪還こそ、星野文昭さんの闘いを引き継ぐものです。半世紀を超えて闘われる安保・沖縄闘争の魂であり、米日の中国侵略戦争・沖縄の戦場化と対決し、戦争を阻む力です。星野救援会と大坂救援会の歴史的統一で運動の飛躍をかちとり、11・14弾圧に決着をつけるような勝利へ向かいましょう。

民衆の反戦闘争の力が 国賠勝利を切り開いた

星野文昭さん獄死＝虐殺から

6年、星野国賠は画期的勝利をつかみました。半世紀を超えて政府の改憲・戦争攻撃の前に立ちふさがってきた星野の闘いが、民衆の反戦闘争の蓄積された力となり裁判所を追い詰めました。星野さん虐殺を絶対に許さない闘いを発展させましょう。それは今なお獄中で闘い続ける大坂正明さんを絶対に取り戻すこと、11・14弾圧との闘いに決着をつける爆発的な反戦の闘いを巻き起こすことです。

安保・沖縄闘争の発展の中に 大坂さん奪還の道がある

「星野さんを先頭にして闘った71年11・14の闘いは、沖縄の思いを本土で体现する闘いでした。その課題は今も続いています。53年目のベテンの返還のこの日は、71年当時の思いもこめて石破政権にたたきつけてほしいと思います。本格的な反戦闘争を今日をもって開始するという気概をもって闘いぬきましょう」(大坂正明さんの2025年5・15アピール)。

沖縄をめぐる政治家の暴言や

天皇来沖は、今日の沖縄闘争が、中国侵略戦争を許すのか否かの帰趨を決するものになっていることを示しています。

今青年たちは「星野さん、大坂さんのように闘おう」と、社会にあふれる怒りを組織し、爆発的に反戦の闘いを拡大していきます。大坂さんと団結し、安保・沖縄闘争と一体で実力奪還へ向かう闘いは、この社会の現実になり変革の闘いに燃える青年・学生・女性を獲得し、根底的な社会変革実現へ向かう最先端の闘いです。星野・大坂闘争の勝利へ、この道を進みましょう。

戦時弾圧うち破り勝利へ

大坂さんへの重刑攻撃は、安保・沖縄闘争の爆発を絶対に許さない国家意思＝戦時弾圧です。大坂控訴審闘争は、破防法をも打ち破って闘いぬかれた安保・沖縄闘争をめぐる、今日まで続く国家権力と労働者民衆の倒すか倒されるかの死闘です。中国侵略戦争阻止闘争の爆発かちとり、戦時弾圧を打ち破ろう。大坂さん絶対奪還、星野国賠勝利！11・14弾圧と闘い勝利する救援会へ、組織と運動の統一で勝利の大道を切り開こう。

集会メッセージ (抜粋)



大坂正明

星野さん
 の一番
 での大勝
 利は、強

力な支援体制があればこそ勝利でした。これまでの常識を打ち破り、歴史的・画期的な勝利を勝ちとったのでした。

星野さんが亡くなるまでの過程で最も重要な点は、2018年に体調不良を訴えた時に、徳島刑務所がその原因を特定する必要な検査をすることなく放置したことにあります。

大坂正明さん親族 佐藤政直

1971年11月14日、渋谷の路上に響いたのは、「基地のない沖縄を」という切実な願いに他なりません。学生や労働者たちが声をあげたその日、沖縄戦で4人に1人が命を落としたという痛ましい過去を二度と繰り返さないための叫びが、冷たい戒厳令のもと、国家による暴力で踏みにじられました。

現在、正明さんは殺人罪で懲役20年という判決を受け、東京

私は被収容者が体調不良を訴えた際には、社会一般で行われているレベルでの検査を義務付けることが収容施設での医療の改善の中心だと考えています。ですから星野さんの控訴審ではこの点をぜひ厳しく問うてほしいと願っています。

今後星野さんと私の支援が一体となると聞きました。これは力が2倍になるというより、2乗になるということでしよう。

この一体化は星野さんが培ってきた闘う力を私に与えてくれるものであり、私には大変心強いものです。感謝とともに、大いに期待もしています。

拘置所に収容されています。私自身、幾度も面会し、証拠や現場の写真を何度も見直してきましたが、正明さんが無実であることは明らかです。この国の正義はどこにあるのか。

市井の人々が声を合わせるからこそが、時代に風穴を開ける力だと私は信じています。たとえ一人ひとりの火が小さくとも、連なればやがて大きな光になる。そう確信しています。今後ともに声を発し続けてください。正明さんの一日も早い解放を。

星野国賠弁護団報告

徳島刑務所の責任追及し
控訴審も真つ向から闘う

岩井信弁護士



星野国賠の一審判決は、全てではないですが、勝訴しました。国はつい先日、100ページを超える控訴理由書を出してきました。必死になっています。それほど、国は一審で負けたと感じているわけです。

かつて、星野さんの証拠ビデオを裁判所が警視庁公安部に預けたら紛失して、国賠をやりました。一審は勝ったけど、控訴審でひっくり返されました。控訴審は、国にとって最後の砦（とりで）のようなところです。判決をひっくり返そうと狙っている国の試みに真向から反論し、事実を突きつけて闘います。

大坂さんのメッセージが重要だと思います。星野さんの一審勝利は、術後管理の問題です。ただ、徳島刑務所が病気を見過ご

して「巨大な腫瘍」になったことについては、何も書かれていません。これでは獄中にいる人々、入管施設にいる人々の医療問題は解決しません。一審では徳島刑務所の問題を詰め切れませんでした。徳島刑務所での出来事をどうやって問題化し、判決で書かせるかが、控訴審での一番の課題です。一緒に闘っていきましょう。

国賠勝利は救援運動の力
救援会の統一で勝利へ！

和久田修弁護士



星野国賠の一審の裁判所の対応は、国が求めた証人の遮蔽措置や氏名の秘匿を認めない、異例のものでした。これは、やはり救援会の皆さんが大坂さんの裁判と合わせて、大きく声を上げて闘ってくれたからです。控訴審もよろしく願います。今回、星野さんと大坂さんの救援会が一緒になるということで、まさしくその力が2乗3乗

大坂控訴審弁護団報告

一審判決は国の強固な意思
運動の力ででっ上げ粉碎へ

山本志都弁護士



星野国賠の一審判決に比して、大坂裁判の一審判決は、証拠の評価や事実認定があまりにひどいものでした。これを打ち破るべく、供述分析や目撃証言に対する鑑定意見書を準備し、重厚な控訴趣意書を提出しました。

今年2月に検察官は、132ページもの異例に長い答弁書を出してきました。検察官にとって、一審判決が薄氷を踏むようなものだったことが伺われます。しかし「判決が正しい」と繰り返し返すのみで、主張の中身が全く

た沖縄闘争、今の沖縄の基地の現実、こういった人たちに届く闘いを、法廷の内外を通じて皆さんと行っていききたいと思っています。よろしく願います。

ありません。弁護団は、一審判決の軸となったA Oさんの調書に書かれている目撃供述が嘘であることを客観的に明らかにする、視力と目撃状況に関する実験を準備しており、さらなる意見書を出して闘います。

地裁判決は、公判に基づかず事実認定すると冒頭で宣言しました。しかし1972年当時の供述調書が暴力や脅迫など非常に強い圧力の下で強要されたことは明らかです。大坂さんは写真にも写っていないし、ビデオでも見るかのように詳細な目撃状況も不自然です。

絶対に無罪にしないという決意すら感じる一審判決をひっくり返すため、新たな証拠調べで事実関係を明らかにすることが大事です。狭小事件、袴田事件では、でっ上げられた証拠は許されないということを、支援の力で明らかにしてきました。控訴審で皆さんの力が必要です。よろしく願います。

沖縄闘争は私の闘いの原点
大坂さん奪還へ全力尽くす

西村正治弁護士



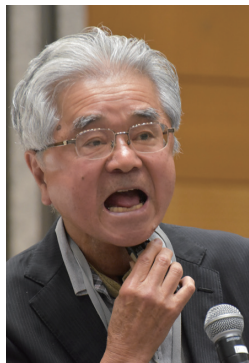
とんでもない一審判決から、もう1年半たちます。控訴審がいつ始まるか、まだわかりませんが、何としても証人調べを實現させることが不可欠です。そのための準備を進めています。

個人的なことですが、私は大坂さんと同じ年に大学に入学し、二十歳になって間もなくの69年4・28沖縄闘争で逮捕され、裁判を経験しました。沖縄闘争は、私の生涯をかけた原点です。71年11月も渋谷の一角で闘いました。大坂さんに対する有罪判決は、現在の沖縄闘争をなきものにせんとする攻撃であり、私の生涯をかけた闘いとして、なんとしても粉碎しなければならぬと決意しています。控訴審に絶対勝利して大坂さんを奪還するために頑張りたいと思います。

大坂さん絶対奪還へ 闘う決意

統一救援会の共同代表の一人として、大坂奪還へ闘います

署名運動呼びかけ人 浅野健一



星野国賠を提訴時から取材してきましたが、官僚裁判官だらけの日本の裁判所が、国家権力による星野さん虐殺を認めたのは、民衆の闘いの勝利です。大坂さんは懲役20年の不当判決を受けていますが、控訴審での勝利に向け、闘い続けています。

今こそ二人の闘いの意義を再確認し、沖縄を再び戦場にしようとする権力に立ち向かう人民の闘いを構築するときです。私は前から星野救援会と大坂救援会という、二つの労働者民衆の力が一つにまとめられたらいいなと思ってきました。星野国賠の画期的勝利を糧に、今日の最大の課題である大坂さん奪還に

全力で取り組む新体制ができることを喜んでいきます。新たな救援会の共同代表に就任することは大変光栄であり、大坂さん奪還へ全力で闘います。

沖縄のベテンの復帰から53年目となる5月15日、大坂さんには面会しました。大坂さんは「私への弾圧は政治弾圧であり、正義の判決を得るには政治闘争の勝利が不可欠」と言っています。新たな次元での安保・沖縄闘争を展開することが重要です。

日本にはたくさんのでっち上げ事件があります。大坂さんの正義の闘いを、日本における人質司法・えん罪事件などを許さない反弾圧の全国的なネットワークの結成に結びつけ、国際社会にも訴えていきたいと思っています。星野さん大坂さんの闘いに学び、前進しましょう。



闘いは人を元気にする
沖縄闘争で大坂奪還へ

沖縄 和田邦子



5月の沖縄現地闘争は、全国からたくさん仲間が駆け付け、中国侵略戦争を阻む新たな沖縄闘争を本土・沖縄一体となつて作り上げる決定的な突破口を切り開きました。

11・14渋谷闘争は、今の沖縄の状況を見通し、ベテンの返還を阻止する偉大な闘いでした。だからこそでっち上げられたのです。米軍の女性暴行事件は復帰前も今も、あらゆる場所で見られています。沖縄の怒り、侵略される側のアジアの女性たちの怒りを沖縄基地撤去の闘いに

まとめ、戦争を阻止しましょう。日本政府の最大の弱点は、沖縄の闘いを圧殺できていないことです。政治家が「ひめゆりの展示は歴史の書き換え」と暴言を吐いて居直ったり、防衛相が沖縄戦を賛美したりすることに、

連日怒りの決起が沸き起こっています。沖縄は歴史の書き換えを絶対に許しません。歴史は真実としてそこにあり、沖縄は日本軍・天皇によって殺され続け、今も天皇制によって侵略戦争の最前線基地にされています。

沖縄戦の教訓は「軍隊は住民を守らない」です。沖縄の怒りを取り込み平定しようという天皇の沖縄訪問を絶対に許しません。天皇来沖阻止から6・14全国反戦集会を闘い、6・23慰霊の日を闘います。

今日は闘いの中で集めた大坂解放署名を80筆預かってきました。辺野古の96歳のおばあに会って、最初元気なかったのが、全国の仲間と辺野古の工事資材の搬入を阻止したことを話したら、スイッチが入り、がばつと元気になりました。闘いは人を元気にする。心置きなく闘い、大坂さんを奪還しましょう。

沖縄の現実を徹底的に怒り
星野・大坂精神をわがものに

全学連

冒頭、大坂さんを絶対に奪還すること、星野さん虐殺の責任を徹底的に追及することと同時に

に、この闘いの勝利は安保・沖縄闘争の爆発と一体であると確認したいと思っています。

沖縄戦は凄惨なものであった一方、日帝のアジア侵略の帰結の一つでした。沖縄戦を美化することは、アジアへの侵略戦争を美化することであり、すでに始まっている現在の中国侵略戦争を正当化するものです。沖縄人民の怒りと徹底的に連帯して闘いましょう。

5月沖縄闘争に参加し、沖縄の現実を見ました。権力は渋谷暴動闘争で機動隊員が一人死亡したことで私たちを殺人者だと罵倒しますが、基地建设を強行し、米軍による女性暴行事件を擁護し、沖縄を戦場に叩き込む中国侵略戦争に突進している国家権力こそ、真の殺人者であり、民衆の命を蹂躪しています。彼らに渾身の怒りを叩きつけるのは当然のことです。

今の沖縄の現実を徹底的に怒り、星野・大坂精神をわがものとして、沖縄連帯の闘いを本土でこそ爆発させていきましょう。そこそが大坂さんを奪還し、星野さん獄死に対する我々の回答、闘いの方針です。ともに闘いましょう。

**戦争を止めるのは私たち！
6・14反戦闘争で大坂奪還**

改憲・戦争阻止！大行進

呼びかけ人

高山俊吉



帝国主義国のリーダーを任じていた国がその座から滑り落ち、存在が凋落^{ちようらく}する中、自らの活路

家族のあいさつ

**大坂解放・星野国賠を
全力で闘い勝利する**

星野暁子



文昭が殺されてから6年、国賠訴訟の勝利判決を4月29日、文昭の墓前に報告しました。

文昭の死の責任を国に認めさせることができたのは、弁護団、協力してくれた医師、そして必

をなんとか見いだそうとして、中国に対する侵略戦争を企て、その道をひた走ろうとしている。そして沖縄を戦場に叩き込み、中国への侵略戦争を同じく先に進めようとしている石破政権と共に打倒すること、そのことが今、決定的に重要な課題になっていることを確認したい。それは星野さんを超長期にわたって幽閉し、虐殺し、現に超長期にわたって大坂正明さんの幽閉を目論む、その権力との闘いです。沖縄連帯、全基地撤去、日米

要な時に必ず足を運び法廷を包囲して闘いぬいた、皆さんのおかげです。心から感謝します。裁判は原告被告とも控訴し、これから控訴審の闘いが始まります。一番で徳島刑務所の責任を認めなかったことを許すわけにはいきません。本当の勝負はこれから始まります。

今年も沖縄闘争に参加し、青年たちと辺野古に座り込み、工事車両を止めました。沖縄闘争を闘う星野救援会と大坂救援会は今日をもって統一し、大坂さんの無罪を求める闘いを軸に、星野国賠に全力で取り組んでいきます。よろしく願います。

安保粉砕、54年前の闘いがそのまま今日の私たちの闘いの根幹の主張です。最大の違いは、中国侵略戦争の火ぶたが切られようとしている時に、今私たちは立っていることだ。

沖縄の闘いは、この国の全ての民衆が担う。とりわけ首都東京の闘いです。沖縄の軍事方針は市ヶ谷で作られる。霞が関で作られる。私たちが決起しなくて一体誰がこの闘いを担うのか。責任を負うのかということが問われるべきです。

私たちはあらゆる事象を戦争との関連でとらえる、考える、言う、行動する。このことが今強く求められていると思います。そのことをあえて強調する理由は、そのような考え方を徹底的に排除する、否定する、そこに権力が全体重をかけてすさまじい攻撃をしているからです。

私たちは戦争への動きを強く感じることに日々接している。学術会議の法人化、米日比の共同軍事訓練。特に見過ごせないのは、中谷防衛相が3月末、東アジアの一戦域化の主張をした。戦域（シアター）は、戦争を起こすものが使う軍事用語だ。

6月14日にトランプ石破打倒、日米の中国侵略戦争阻止全国集会と大行進が行われる。芝公園23号地に、自分以外に2人連れて参加してほしい。

統一救援会に参加し 大坂奪還に向け闘う

北海道星野文昭さんを救う会

鈴木潤



星野国賠一審勝利から、大坂無罪奪還へ、北海道の会は星野大坂全国救援会に結集し、全国の仲間とともに闘う決意です。

今年も大通公園地下歩行空間で星野絵画展を行います。万という単位の人に、沖縄、無罪、獄死の3つの単語を一目でわかるように訴えて闘います。

北海道の会は文昭さんの家族、クリスチャンの方々を中心に結成され30年経ちました。今では大坂さんの親族も合流して闘っています。星野さん逝去に伴い、会の行方を真剣に議論してきました。星野国賠勝利とともに、今、大坂さん絶対奪還に向かって動き始めています。会として沖縄

問題に食らいつき、学習会を進めています。星野さん大坂さんの出身地・北海道で、全国の皆さんと団結して闘います。

まとめと行動提起

二つの救援会は名実ともに一つになり、大坂さん絶対奪還の決戦に全力で突入します。

星野・大坂精神を横溢^{おういつ}させ、安保・沖縄闘争の爆発で中国侵略戦争を止める勢力として救援会が登場しよう。これが11・14弾圧を打ち破る勝利の道です。6月14日、全国反戦集会を闘おう。5千筆署名を集め、6月19日の東京高裁申入行動に集まろう。



5月8日 東京高裁申入行動

大坂さん解放署名3174筆提出

さらに署名集め裁判所に怒りの声を

5月8日、大坂正明さんの即時解放を求め、東京高裁への申し入れ行動を闘いました。大坂救援会を先頭に星野救援会は東京東部、南部、杉並、北部、東京連絡会、神奈川、千葉、埼玉の各救援会が駆け付け、星野・大坂一体となって大坂さん奪還に向かおうとの思いあふれる街宣&申し入れ行動になりました。昼休みの裁判所前街宣を33人で闘い、午後1時半から高裁への申し入れ・署名提出行動にな



しました。

署名の目標は5000筆です。次回6月の署名提出行動までに何としても集め、私たちの怒りを署名数という物質力で裁判所に示し、控訴審勝利・大坂さん奪還へ闘おう。

春闘や憲法集会で多数の署名集まる

春の大型連休に行われた各地の憲法集会や春闘集会に救援会が登場し、大坂さんの解放を訴え署名活動を展開しました。

徳島では会員が地元の百人規模の集会に参加し、52筆もの署名を集めました。こうした積み重ねが3174筆の署名です。

様々な闘いに大胆に大坂解放署名を持ち込み、安保・沖縄闘争を訴えよう。その力が中国侵略戦争を阻止する労働者民衆の力となり、大坂さん奪還へのうねりを作り出します。6・14全国反戦集会を闘い、6・19東京高裁申入行動へ集まろう。

東京高裁申入行動&霞が関デモ

6月19日(木) 正午、日比谷公園霞門集合

午後0時15分デモ出発／東京高裁前街宣

午後2時、東京高裁申し入れ・署名提出行動

5・15 沖縄現地闘争報告

今年も辺野古新基地
資材搬入を止めた!

5月17・19日、改憲・戦争阻止! 大行進が呼びかける「復帰」53年目の沖縄現地闘争に星野・大坂救援会も参加しました。那覇市内での集会と国際通りデモ、ミサイル部隊のある陸自勝連分屯地抗議行動、辺野古現地での座り込み、沖縄戦を賛美する陸自第15旅団抗議行動と、全力で闘いぬきました。

19日の辺野古現地闘争では、ゲート前に400人が座り込み(写真)、昨年に続き工事資材搬入をストップさせました。

中国侵略戦争情勢が沖縄に軍事重圧としてのしかり、「平和



行進」などの既成勢力が戦争と対決できない状況が起こっています。私たちが実力阻止を闘い抜いたことは、新たな安保・沖縄闘争の爆発へ向かう本土の闘いと、全基地撤去へ不屈に闘う沖縄民衆との連帯を深め、労働者民衆の力で戦争を阻止する大きな展望を示しました。

全国から40人で大坂宣
県庁前で大坂奪還訴える

18日、勝連分屯地抗議行動を闘った後、那覇市内に帰り沖縄県庁前交差点で大坂さん解放を求める街宣を行いました。

救援会の呼びかけに応じて集まった40人の大坂宣は圧倒的な注目を浴びました。全基地撤去、大坂さんを取り戻そうとの訴えに多くの人が立ち止まり、署名が集まりました。

絵画展

土浦絵画展

絶対反戦の絵画展 パート4

4月22日から6日間、JR土浦駅前の市民ギャラリーで絶対反戦！「星野文昭・天国からの絵画展」パート4を開催しました。この拠点会場での定点&定期（4、8、12月）の絵画展は20回目となりました。

今回も7名の友情出展者の支援と多くの会場スタッフに支えられ、152人の来場者がありました。寄せられたカンパ3万円を星野国賠訴訟に寄付しました。恒例の星野さんの全作品を



取りそろえたプレゼント用の缶バッジとミニレプリカは大好評でした。親子連れの来場者も多く、缶バッジ試作体験コーナーは子ども達に大人気でした。電気バイオリンによるバッハの「主よ、人の望みの喜びよ」やヘンデルの「私を泣かせてください」などの演奏で会場は大いに盛り上がりました。

中国への侵略戦争阻止、沖縄を再び戦場にするな！パレスチナ虐殺許すな！プーチンもNATO、米もウクライナから手を引け、のパネルの前で来場者との討論も大盛況でした。星野さん大坂さんのパネルの前に立ち止まり、熱心に説明を読む人々も。大坂署名は15筆集まりました。会期中に3回も来場し、反戦を熱く語るリピーターもあり、地元での国際連帯・絶対反戦の星野絵画展になりました。目指せ！階級的絵画展！（日下部伸）

広島絵画展

中国侵略戦争阻止！ 沖縄と連帯して絵画展

4月27日から5月1日まで、広島市のひと・まちプラザ1階



エントランスロビーにて「星野文昭絵画展・沖縄と連帯して渋谷闘争を闘った星野文昭と大坂正明」を広島県労組交流センターの主催で開催しました。何よりも沖縄の反戦反基地の闘いと連帯する取り組みとして、4・28沖縄デー闘争として闘った4・29岩国基地撤去のデモと米軍への申し入れ、そして5・1広島反戦デーと一体で取り組みました。

星野文昭さんの沖縄関連の絵と暁子さんの詩の展示に加えて、星野文昭さんと大坂正明さんが闘った1971年11・14渋谷闘争についての展示も行いました。米軍基地と核撤去のないペテンの本土「復帰」に対して全島ゼネストで闘う沖縄、本土でそれに連帯して闘われた11・14渋谷闘争、大坂正明さんの無実を訴

える裁判闘争、そして中国侵略戦争の最前線基地として戦場にされようとしている沖縄の現状についての展示を行いました。

4月27日には大坂さん奪還署名行動を本通交差点で、大坂正明さんの裁判についての学習会も同じ会場の研修室で行いました。絵画展を見た青年は「星野さん、大坂さんの闘いに感動して涙が出た」と感想を述べ、沖縄の知り合いなどにも広めたいと語っていました。

5・15沖縄闘争と5・25沖縄連帯広島集会をやりぬいて、6・14改憲・戦争阻止大行進！集会&デモの3000人結集へ全力をあげようと、連日の総決起となりました。（壹貴田康博）

高松絵画展

星野さんの生き方に肉薄 戦争阻止訴え300人来場

5月3～6日の4日間、高松市美術館で星野絵画展を開催しました。大型連休と重なり1千枚用意したピラが瞬く間に受け取られ、300人近い人が来場しました。絵から伝わる星野さんの思いを「きれい、きれい」と感動する人や、海外の旅行者

も多く訪れました。

私たちは、開催にあたり沖縄と連帯し星野さんの生き方に肉薄することを獲得目標とし、連日、市内で街宣を行ない、米日の中国侵略戦争阻止と星野さんの闘いを結びつけ訴えました。文字通り「情勢の主体化と主体の情勢化」の実践です。絵画展終了後には、私たちは総括会議を行い、今回の絵画展で勝ち取った情勢を確認して、「日米の中国侵略戦争阻止！トランプ・石破打倒！5・15沖縄、そして6・14全国闘争へ3000人結集に全力で取り組むことを決意しました。

大坂正明さん即時奪還のためにも、戦争阻止の反戦闘争をさらに発展させ、革命に向けて勝利しよう！（片山元久）



インフォメーション

■トランプ・石破打倒！ 日米の中国侵略戦争阻止！

全国集会&大行進

6月14日(土) 午後1時

芝公園23号地(都営三田線御成門駅・東京メトロ日比谷線
神谷町駅徒歩7分)

デモ出発 午後2時45分

主催 「改憲・戦争阻止！大行進」実行委員会

■国鉄闘争全国運動全国集会

6月15日(日) 午後1時30分

千葉市民会館大ホール(JR千葉徒歩7分)

呼びかけ 国鉄闘争全国運動

■東京高裁申入&霞が関デモ・街宣

6月19日(木) 正午 日比谷公園霞門集合

午後0時15分 霞が関デモ

午後1時 東京高裁前街宣

午後2時 東京高裁申入・署名提出行動

■大阪・星野文昭★暁子 絵と詩展

6月20日(金) 午前11時～午後6時

高槻市登町住民センター1階(うえだ下田部病院の向かい)

6月21日(土)、22日(日) 午前11時～午後6時

高槻市立生涯学習センター第1会議室

(高槻市役所北隣 高槻市総合センター3階)

主催 大阪北摂・星野文昭さんを取り戻す会

■埼玉・加須絵画展

6月21日(土) 午前11時～午後8時

22日(日) 午前9時30分～午後7時

市民プラザかぞ1階視聴覚ホール

(東武伊勢崎線 加須駅南口徒歩1分)

主催 星野文昭絵画展加須実行委員会

■東京東部絵画展

6月21日(土) 午後1時～午後6時

22日(日) 午前10時～午後6時

23日(月) 午前10時～午後1時

新小岩地区センター1階(JR新小岩駅南口徒歩5分)

主催 東京東部星野文昭さんを取り戻す会

■狭山要請行動

6月23日(月) 午前10時 東京高等裁判所前街宣

午前11時 東京高裁要請行動

午後0時15分 東京高裁包囲デモ

主催 部落解放東日本共闘会議/全国水平同盟杉並支部

■愛媛詩画展

6月28日(土) 午後1時～午後6時

29日(日) 午前9時40分～午後4時

愛媛県立美術館2F特別展示室1

(伊予鉄道南堀端駅徒歩2分)

連絡先 えひめ星野文昭さんを取り戻す会

■札幌絵画展

7月10日(木) 午前10時～午後7時

11日(金) 午前9時～午後7時

12日(土) 午前9時～午後5時

札幌地下広場(チカホ) 憩いの空間スペース

主催 北海道星野文昭さんを救う会

協賛 日本キリスト教団北海教区社会委員会

■九州絵画展

7月11日(金)、12日(土) 午前10時～午後5時

西南学院大学西南コミュニティセンター多目的室1, 2, 3

主催 星野さんを取り戻す会・九州

■広島暴処法裁判

7月23日(水) 午後2時

広島地方裁判所第304号法廷



絵・星野文昭(2003年制作)
ラベンダーの季節を迎えた北の大地

今回から文昭の絵も新たな思いで紹介していきます。古い順に、気に入っている絵を案内します。この絵も古いですが、とても丁寧に描かれていて、感動させられます。

星野暁子

星野・大坂全国救援会の 会員になってください

5月30日、星野・大坂総決起集会在東京の弁護士会館で開かれ、星野救援会と大坂救援会が一つになって、「無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会」として新たに出発することになりました。星野国賠控訴審闘争、大坂控訴審闘争勝利のために、星野・大坂全国救援会の会員になってください。

星野救援会は53年にわたり、無期懲役をでっち上げられながら獄中で不屈に闘い続けた星野さんとともに、安保・沖縄闘争への弾圧を許さず闘い抜いてきました。星野国賠は今年3月24日、画期的な勝利判決を勝ち取りました。原告、被告双方が控訴しました。控訴審でさらに国を追及していきたいと思ひます。

無実の大坂正明さんは46年間の指名手配攻撃と闘い、一審懲役20年の不当判決と不屈に闘い続けています。控訴審で大坂さんを奪還しよう。

反戦闘争を全力で闘い、11・14弾圧を打ち破りましょう。米日の中国侵略戦争を私たちが止めましょう。是非、皆様のお力をお貸しください。

星野・大坂全国救援会の年会費は3,000円です。会費は郵送か振替口座でご入金ください。

会員になっていただいた方には「星野・大坂救援ニュース」をお送りします。

振替口座：00110-5-155521

口座名：星野さんを取り戻そう！全国再審連絡会議

〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階

TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226

Email: hoshinoosaka@ymail.ne.jp